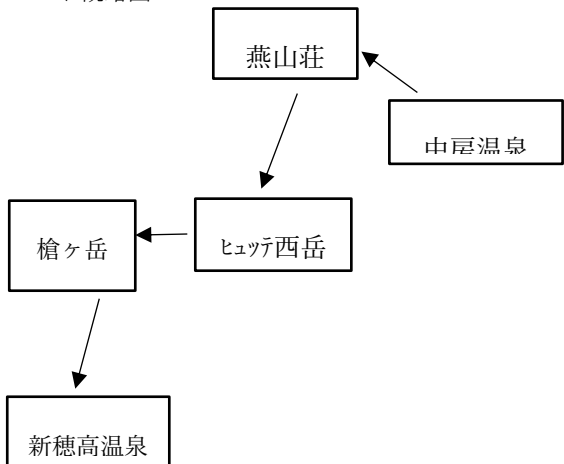


9月11日～ 表銀座（燕岳～槍ヶ岳）

松嶋 芳人

山名	表銀座（燕岳～槍ヶ岳）	山行名	個人山行
ルート	中房温泉登山口～燕山荘～ヒュッテ西岳～槍ヶ岳山荘～新穂高温泉登山口		
山行日	2023年9月11(月)～15(金)	天候	12～14日晴れ後曇り、15日曇り
参加者	リーダー：木田	サブリーダー：松嶋	合計：2名

ルート概略図



コースタイム

地名		時：分	地名		時：分
(9/12) 中房温泉	発	7：56	(9/14) ヒュッテ西岳	着	
				発	5：50
燕山荘	着	12：46	槍ヶ岳山荘	着	10：45
	発			発	11：41
(9/13) 燕山荘	着		槍ヶ岳	着	12：00
	発	5：55		発	12：06
大天井ヒュッテ	着	10：07	槍ヶ岳山荘	着	12：27
	発	10：46		発	
ヒュッテ西岳	着	13：09	(9/15) 槍ヶ岳山荘	着	
	発			発	6：27
			新穂高温泉	着	13：18

<9/11(月)>

朝 6：20 出発、上高地は普通車乗り入れ禁止であるが、平湯温泉にあるパーク&ライド用の駐車場「市営アカンダナ駐車場」（¥600/日）があり、今回はここに車を置いて、ここからバスで松本へ移動の予定。途中、名神の一宮付近で激しい雨になり、明日以降の天気が心配になる。11 時頃、駐車場に到着。ここから松本行のバス、JR を乗り継ぎ、途中で食料を調達して、前泊の宿「ビレッジ安曇野」には 16：30 頃に到着。夜 20 時頃にも雨が降り、明日の天気が心配になる。

<9/12(火)>

夜の雨は止んでいて、薄日が差している。6：25 発、中房温泉行きのシャトルバスに乗車。行き先の北の方には黒い雲がどんよりと掛かっており、山道に入ると一層薄暗くなってきて気分はブルー。所があら不思議！？、中房温泉登山口に着くと晴れており、良い感じに。

これからのロングトレイルに多少の不安を感じつつも 8 時頃、気を引き締めてスタート！ついつい、はやる気持ちを抑えて歩き始めはゆっくりゆっくりゆっくりを心掛ける。K さんより「いいペースですね。」のお言葉。前回、リタイヤした経緯があり、今回は失敗は許されない(笑)。私も予定通り完歩するのが何よりも重要な目標と考えていた。

北アルプス 3 大急登の一つらしいが、さほどしんどさを感じず、樹林帯を順調に登っていき、合戦小屋で名物のスイカを食する。大きいので 1 個を半分ずつにした。燕岳が雲の合間からチラホラ見え出すとテンション UP！12：45 稜線に出て、今まで見えていなかった反対側の裏銀座の山々が目に飛び込んできて疲れが一気に吹っ飛ぶ。燕山荘到着！小屋で一服してから燕岳をピストン。この日、小屋の主は不在で名物の上映会はありませんでした(涙)。

<9/13(水)>

夜明け前、外に出ると満点の星空。これはご来光が期待できそう。日の出前にスタンバイ。雲の加減なのか、後光が差すようなご来光。こんなご来光は初めて見ました。5:55 出発。槍ヶ岳を見ながら憧れの表銀座の稜線歩き。上は素晴らしい青空、下は雲海。笠ヶ岳、鷲羽岳、水晶岳、夏山登山で行った立山もよく見えている。しかし、9 時頃にはガスが湧き始め、9 時半頃には槍ヶ岳はもちろん他の山々も山頂は隠れてしまう。道中、ブロッケン現象と雷鳥が見れた。猿の軍団に遭遇し、人慣れしているのか、登山道のだ真ん中で堂々と居座っている。大声出してどいてもらおうが、数の多さにこちらに向かってこられたらどうしようかと恐怖を感じた。いくつものアップダウンを繰り返して、ヒュッテ西岳に 13 時頃、無事到着。15 時頃から雨が降り始めて 17 時頃まで結構きつく降った。早めに着いていて良かったと思う。ついつい、景色の良い場所だとのんびりお茶をしたくなる性分なのだがやはり、山では早出早着が鉄則なのを改めて感じた。

<9/14(木)>

このこと夜明け前、外に出ると今日も満点の星空。K さんに北極星の見つけ方をレクチャーして頂く。

槍ヶ岳山荘と北穂高小屋の灯りが見えている。ご来光を拝んだ後は西岳まで 10 分程登る。目の前にドーンと槍！その左に奥穂！北には鹿島槍？南には八ヶ岳、富士山、甲斐駒、仙丈までバッチリ！ずっとここに居たいが先は長いので降りて、歩き始める。歩いてみたかった東鎌尾根は 200m 一気に下ってから槍まで 600m の登り返し。岩稜、梯子、鎖があつて危険な箇所もチラホラあり慎重に進む。10 時半にはガスが出始め、残念ながら槍の穂先は雲の中に。10:45 槍ヶ岳山荘に到着。小屋で一服してから槍ヶ岳山頂へ。

談話室にて燕山荘から同じコース、同じ小屋泊だったメンバー7 人で語らう。北海道、福岡から来られた方もいて多彩な方々と今回のご縁と一体感を感じて記念撮影をパチリ。

<9/15(金)>

夜明け前はまさかの雨！今日の登頂は諦める。出発する時間には雨は止んでいたがガスで真っ白。眺望がないので黙々とひたすら下る。今日は 2,000m の下り。長い上高地に下りるよりはマシとこっちのコースで計画した。新穂高温泉登山口に到着して、無事の Mission complete をお互いに称え合う。おしまい。

<所感>

コロナ前以来で 4 年ぶりの 3,000m 級の縦走。高山病のリスク持ちなので途中下山が難しいのも不安でした。断片的に歩いたコースもありましたが、悪天候で眺望が見れず、表銀座を完歩したことが無かったので一大決心して行くことにしました。結果、久々に素晴らしい大パノラマを堪能でき、5 日間ご一緒して頂いた K さん、有難うございました。

ヒヤリハット なし



アルプスの女王：燕岳



イルカ岩



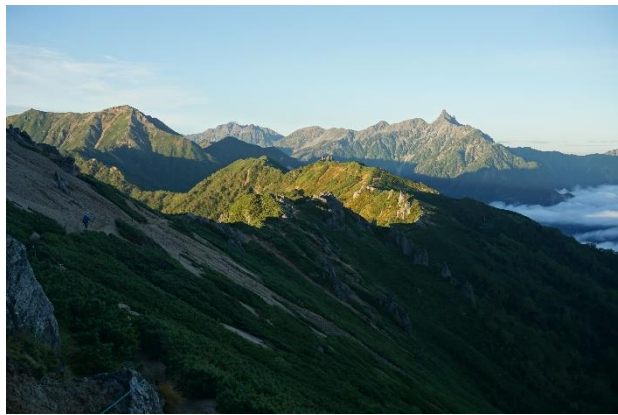
合戦小屋でスイカを食す



後光が差したような暁



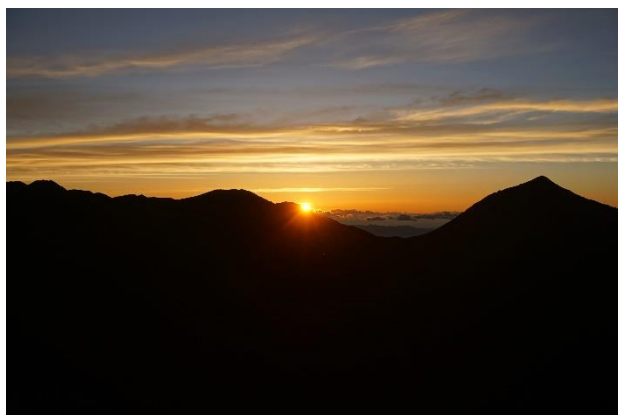
燕山荘からのご来光



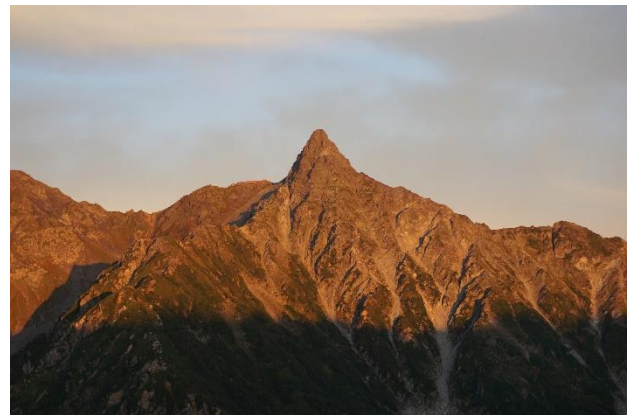
表銀座の稜線の奥に槍ヶ岳



写真では分かり辛いがブロッケン現象



ヒュッテ西岳からのご来光。右は常念岳



槍ヶ岳のモルゲンロート



西岳からのパノラマ。太陽の右の三角は常念岳、真ん中右が奥穂高岳、右端が槍ヶ岳



あれが槍だぁ！！



槍の穂先に立つ！

【リベンジを果たして】

木田

昨年の雪辱を晴らそうと計画した例会は、参加希望者1名のみで中止。その後Mさんから「行こう」とのお誘いを受けて2名の個人山行として実施した。「昨年と同じ轍を踏ませるわけにはいかない」とのM氏の配慮から超スローペースでスタート。前回のアクシデント個所は、小屋まで「あと10分」、「あと5分」の看板を過ぎた合戦小屋直前であった。(3時間程度の急登で、両足痙攣が起きたことになる)。今回は、会話を楽しみながらのゆっくりペースであったにもかかわらず標準タイムで小屋に到着した。トレーニング登山を重ねた、昨年度の山行は一体何だったのか！最大の原因は、スタート直後からのオーバーペース(先頭を担当したので自己責任)に尽きる。他には、「休憩の取り方」、「装備の過荷重」と「弱点(膝等)のサポート不足」など。思えば当たり前のことが出来ていなかったということが、今回のリベンジによって分かった。

そして、台風13号接近など二転三転した天候予報も、いつもの『晴男』は快晴の中を均整の取れた槍ヶ岳の雄姿に向かって縦走を楽しんだ。槍の麓では、これまで何度か登頂したところの余裕か、リベンジを無事果たせたことの安堵感か、ガスが出だした槍の穂先への執着はなく小屋で一人感慨に耽っていた。表銀座縦走は、登山を始めた30歳の頃に雑誌「山と溪谷」の特集で知りどうしても行きたいと思いながら、その実現に40年の時が過ぎていた。

登りたい山に登れる残された時間はあと僅か。

さあー、次はどの山に登ろう！！